

厨式少女覚醒奇譚く従属と愛慾の淫夢く

トラック1

[Episode 1 邂逅と契約の刹那]

止まりなさい。そう、そのあなた。

何故私を尾行しているのかしら？

ふふっ…とぼけても無駄よ。

気付かれていないとでも思った？

さっきからずっと、足音が丸聞こえなの。

そんなんじや、猫一匹だって捕まえられないわ。

音を殺して歩くのは基本中の基本。

あなたの組織は、その程度のことも教えてくれなかったの？

こんなド素人に狙われるなんて、随分と舐められたものね…

それで、この私。

ほうりゅういん せつな
法龍院刹那に、何の用？

んなつ、ときわ常盤ミチル…ですって…？

やめなさい。それは私のまな真名。

げせん下賤な者がおいそれと口にしていいものではないわ。

というか、何で知ってるの…

まさか、組織の情報網はもうそんなところまで…

…って、あなた。よく見たらウチの学校の制服じゃない。

んー、そういえばその顔も、何だか覚えがあるような…ないような…？

ああ、そう。同じクラスなのね。失礼。

私、ただの人間には興味がないから。

いちいちクラスメイトのひとりひとりまで、顔や名前を覚えてはいないのよ。

でも、こんな時間にどうしたの？

もうとつくに、授業の開始を告げる鐘は鳴ってるでしょう。

成る程…ふっ、読めたわ。

あなた、遅刻したのね。

ここは通学路なのだから、私が学校に向かえば当然、あなたも同じ道を辿ることになる。
ずっと私の後ろを張り付くように歩いていたのにも説明がつくわ。
QED：証明完了。

なに、寝坊でもしたの？

布団の中は気持ちがいいものね。

虚無からの誘いに抗えないのも無理はない。

くくくつ、愚かな人間。

ほら、のんびり歩いてないでもっと急がないと。

もし見つかったら、先生の逆鱗に触れてしまうわよ。

ん？ 私はいいの。

何故なら私は、異世界セレスティアから来たれし、闇の力を司る魔族。

この世の理から逸脱し、常識を超越した存在…

学校側が勝手に決めた始業時間など、この法龍院刹那の前では意味を成さないの。

…何？ その可哀想なものを見るような目は。

まあ…あなたみたいな無知なる者には、

高尚なる私のことなど理解できなくて当然なのだけれど。

ま、それはそうとして…ふむ。

あなた、男よね。少なくとも生物学上は。

うん。なら丁度、アレを頂く絶好の機会かも…
間違いないわ。

この出会いは偶然ではなく、定められた運命…
ちよつと着いて来なさい。

学校なんていいから。ほら！

えーつと…そうね、この辺りが密事みつじを行うのには最適かしら。

こんな路地裏なら誰も来ないでしょうし、人に見られる心配がないわ。

さあ、あなた。ペニスを出して。

聞こえなかったの？ ペニスよ。陰経いんけい。男性器。

俗世ぞうせでは、おちんちんとも呼ばれているアレよ。

あなた、ついでいるのでしょうか？

何故って…ああ、説明がまだだったわね。

私は故郷である異世界へと通じるゲートを開く為、

夜よな夜よな儀式の準備を行っているのだけれど。

…ほら。

この魔術書によると、儀式の材料に人間の生命の元…精液が必要らしいのよ。

そんなのどこにも売っていないから、どう調達したものか苦心くしんしててね。

ならばもう直接、人間から採取するしか手に入れる方法がないじゃない。

そう考えていたところで都合よく、私の前にあなたが現れた…

というわけで、あなたの精液を少し分けて貰うわ。

構わないでしょう？

何よ、疑ってるの？

この魔術書の信憑性は高いわ。

なんと言ったって、古本屋で一万円もしたのよ。

年代物ねんだいものだし、どこことなく魔力のようなものを感じない？

感じるのよ。

なけなしのお小遣いで買ったんだから、ケチをつけないで貰えるかしら。

そんなことより…

ねえ、早く。時間は有限なのよ。

もたもたしないの。

ズボンを下ろして、あなたの大事な肉棒を召喚しなさい。

んっ…しょ、いでよ…えい！

んあっ…これが人間のペニス…

へえ、初めて見るけど、意外と小さくて可愛いのね。

さしずめキャタピラー、レベル3と言ったところかしら。
おちんちん、なんて間の抜けた呼び方をするのも納得だわ。
じゃあ精液を出して頂戴。

手のひらの上でいいから。はい。んっ。

…ねえ、まだ？

えっ、出せないって…どうして？

精液はペニスの先っぽから出るって、保健体育の授業で習ったわよ。
寝てたから詳しくは知らないけど。

え？ ふーん。触って、刺激してあげないといけないんだ。

そういう仕組みなの。

ふむ、仕方ないわねえ…

ん…しょ…

どうすればいいの？ 指で摘つまんで…こう？

手を前後に動かして、擦こすってあげるのね。

ん…ふう…

これで…いいのかしら？

ん…しょ…んっ…

んー…？ なに、顔が近いって？

これくらい近づかないと、上手く擦こすれないでしょ…我慢こしなさい。

ん…ふう…

痛くない？ もっと優しく？

ええっと、こんな感じ？

ふう…ふう…ん…

小さくて、擦こすりにくいわね。

ちゅこちゅこ…ちゅこちゅこ…

これで合ってる？

ちゅこちゅこ、ちゅこちゅこ…

あれ…ちよっと…おちんちん、ムクムクって膨らんできたんだけど…

あっ…あっ…何これ…どんどん大きく…嘘…

おちんちんが、エボリューションした…？

これは…モンゴリアン・デス・ワーム…実在したというの…？

さつきまで、あんなに小さくて可愛いザコモンスターだったのに、

こんな禍々しい姿になってしまっただなんて。
まがまが

ああ…まさか、何てこと…

私の闇の魔力の影響で、

知らずの内にあなたを獐猛な怪物に進化させてしまったのね。
どうも

罪深いことをしてしまったわ…

またひとつ、カルマを背負うことに…

え、違う？ 勃起…？ ただの生理現象…なの。

もう、紛らわしいわね。

じゃあ、このまま続ければいいのかしら。

ん…しょ…ん…しょ…

スリスリ…スリスリ…

わっ…先端から何だか透明で、トロトロした液体が出て来たわ…

白くないし、これは精液…ではないのよね。はっ…まさか溶解液…！
ようかいえき

これは罨で、精液を奪おうとするこの私を、

ドロドロに溶かしてしまう気なんじゃ…

ん…？ ふうん…我慢汁って言うの。

害があるものではないんだ。

ペニスからは色々な液体が出るのね。

不思議…とても興味深いわ。

ん……しょ…ん…ん…ふう…

どう…かしら…上手く出来てる？

ふっ、当然よ。

この程度のミッション、私にかかれば造作もない。
ざうさく

ん…しょ…ん…しょ…

ふふっ…見なさい、こうやって。

我慢汁を手のひらに塗り広げて、竿を擦ると…
こす

んしょ…

ヌルヌルで潤滑剤代わりになるの。
じゅんかつざい

スリスリ…スリスリ…ほら、ね。

こんなことを思いつくなんて、天才かしら。

己の才能が恐ろしい…

スリスリ…スリスリ…

ん…しょ…ん…しょ…ふう…

んあっ…手のひらに、血の滾りたぎが…伝わって来る…熱い…んっ…

はあ…はあ…

感じるわ…

肉棒が、心臓のようにピクピク脈動して…パワーが高まって行くのを…

そう、エネルギーが充填じゅうてんされているのね…

これ、凄く…変な感じ…

この感覚は何？

あなたのペニスを触っていると…

どうしてだか、胸の奥でズキズキとした疼うずきが…

んっ…はあ…はあ…

闇の力が…身体の中で、暴れ回っている…暴走…

んんっ…くう…なんてこと…食い止めなければ…うっ…

はあ…はあ…あっ…はあっ…

どう…したの？

息が荒くて、あなたも何だか苦しそう…

本当につらい？

だったらもう、やめるけど…

ん、違う？ 気持ちいいの？

ふっ…ふふっ…そう…♪

気持ち…いいんだ？

こうやって、ペニスを擦られると。

指で優しく触ってるだけなのに、苦悶くもんに満ちたような表情…浮かべちゃって…

ここってそんなに敏感、なのね。

ん…はあ…はあ…ふう…

身体が…震えているわ。

ペニスが疼うずいて、苦しくて。でも気持ち良くなって、たまらないんだ。

ここ、スリスリされるの好き？

そうなの？
へえ…面白い。

ふふっ…ふふふっ…人間はなんて、か弱い生き物なんでしょうね。
肉棒一本握られただけで、心も身体も支配されてしまっている。

闇の力に抗う術を持たない哀れな者よ。あらが

んー、なあに？ もっとして欲しいの？

この私に…

ふうん…それなら…お願い、してみたら？

ほら……ほおら…

くくっ…私に屈服しなさい。従え。

ほうりゆういん せつな

法龍院刹那に忠誠を誓うのよ。

あなたを特別に、私の眷属けんぞくとして迎え入れてあげる。

嫌？ 股間にそびえる魔物は、もうとつくに従順じゆうじゆんだというのに。

スリ、スリ、スリ…

さわ…さわ、さわ…さわ…

ピクピクしちゃって、快感に弱いよね。

見た目に反して弱っちいじゃない。

可愛い子♡

さわ…さわ…さわ……くすぐりたい？

あはっ…でもこんなんじや、きつと物足りないんですよ。

それくらい読み取れるわ。あなたの分かりやすい反応を見たらね。

もっと強く、スリスリしないと精液が出せない…

出せないと、疼うずきっぱなしでとつてもつらいの。

さわさわ…さわさわ…足りない…足りない…

さわさわ…さわさわ…もっと…もっと…

ふふっ…解放したいでしょ？

ペニスに溜まった力を解放放ちたい…

だったら、素直になればいいのよ。

私の物になりなさい…

そうしたら、今以上の極楽が待っているわ。

怖がることはないの。

闇の世界に堕ちて、魔の力に翻弄ほんろうされることになるうとも…

私が、側にいてあげるから…ね？

ほら…どうしたの。返事は？

ふっ…やっとその気になったようね。いい子だわ。

では…契約の口づけを交わしましょう。

ええ…そうよ。

主従契約は、契約の呪文とまを唱え接吻せつぶんをするものと、相場が決まっているの。
そういうもののなの。行くわよ…

あるじな まよ
主無き迷い子に告げる…

汝の身は我が元に。我が力は汝と共に。

ほうりゆういん せつな あるじ
法龍院刹那を主と認め、従属を誓い、命運を共にする覚悟があるのなら…

その魂を、我に差し出せ。さあ、応えよ。こた

んっ…ちゅ…くちゅ…ちゅぷぷ…ちゅっ…んんっ…

はあ…はあ…

くくっ…契約完了よ。

破滅へと誘う禁断のキスは、甘い蜜の味…は、別にしなかったけど。

そっか…ふうん、こんな感じなのね…

唇、柔らかい。

もちろん初めてよ。キスなんて。

なんて言うか…変な気持ち。

言語化できないわ。

でも何だか…満たされる。

ね、キス…もつとしていい？

いいえ、しなさい。あるじ 主の命令だから。

あむ…ちゅ…ちゅ…ちゅる…ん…ちゅ…

くちゅ…ちゅぷ…ん…ちゅぱ…ちゅる…くちゅ…ちゅ…

んはあ…んちゅ…ちゆる…ちゅ…くちゅくちゅ…ん…はあ…ん…

はあ…はあ…んあ…

ちよつと…熱くなってきた…何故？

身体の奥が…灼熱に飲まれるような…

これは、イブリースの炎…喜びなさい。

魔の王も、この契約を祝福している。

さあ征くといい。我が従僕よ。

その力を、今すぐ解き放て。

んっ…んっ…はあ…はあ…

スリスリ…スリスリ…ふふっ…

もつと、もつと、スリスリ…スリスリ…

あなたが持つ、秘蔵^{ひぞう}の精液…生命の滴を…その姿を、私に見せよ。

はあ…はあ…ん…はあ…はあ…

ん…ちゅ…はあ…ん…ちゅぷ…ちゅ…くちゅ…

ちゅく…ちゅるる…ふは…

ちゅ…ん…ちゅくちゅく…ん…ちゅ…んちゅ…はあ…はあ…

おちんちん気持ちいい？ うん？

もう、我慢は要らないのよ…

出せ…出せ…精液…出せ…

ほら…出せ…おちんちんから…出しなさい…

さあ…従僕よ…出せ…出せ…出せ…♡

ちゅぷ…ん…ちゅく…んっ…くちゅ…はあ…ちゅ…ちゅる…

くちゅ…ちゅぷ…んちゅ…ちゅ…んは…あむ…ん…ちゅ…

はあ…はあ…

出ちやいそうなの？

あはっ♡ いいわ、出しなさい。

溜まりきった、闇のエネルギー…あなたの、精液。

私の手のひらに、今こそ吐き出せ…！

出せ、出せ、出せ、出せ、出せ…！

んっ…んおおっ…！ あっ…あっ…♡

びゅるびゅる出てる…！

何これ、すごっ…わっ…んあっ…！

はあ…ん…はあ…はあ…

これで、全部？

ふうう…白くて、ゼリーみたいにプリプリしてる…

わあ…なんて濃い魔力…これが…精液だというの？

すんっ…

うっ…匂いもきつい…

でも…もっと嗅ぎたくなる…

どうして…？

すんっ…すうーっ…

んはあ♡

これ、危険だわ…脳がジワジワ…汚染されている…

胸が…苦しい…酸欠みたいに、クラクラする…はっ…はっ…ん…はあっ…

くっ…この私が…瘴気にあてられ…理性を…蝕むしばまれるなど…

はあ…はあ…ああ…

精液…精液い…んっ…

じゅるっ…

美味し…そう…

ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡

んっ…ちゅるる…じゅる…んはっ…んちゅ…じゅるるう…くちゅ…

んっ…んくっ…ちゅ…れろれろお…ちゅ…れろお…

はっ…はっ…はっ…

げええっ…

んっ…はっ…

ふーっ♡ふーっ♡美味し♡

んあっ…あれ？

何故…儀式に必要なものだったのに…つい飲んじやった…

はあ…ん…はあ…はあっ…

ん…まあいいわ…それに関しては。

必要になればいつでもまた、従僕から搾り取ればいいだけだもの。
それより、この異様な胸の高鳴り…ただ事じゃないわ。

精液が原因？

…ふむ。どうやらこの現象、調べてみる必要があるそうね。
ふっ、忙しくなってきたわ。

ちよつと、何を惚^{ほう}けているの？

私、用事が出来たから帰るけど。

あなたは早く学校に行きなさい。

我が眷属になろうとも、あなたは一介^{いっかい}の学生。

人間社会に溶け込むよう、しっかり務めるように。

いい？ 私の可愛い下僕。

では…さらばっ！

トラック2

[Episode 2 背徳と覚醒の儀式]

従僕…我が従僕よ…私の呼び掛けに応えよ…

アテーナーの導きに従い、混沌極めしこの聖なる学舎に…
まなびや

ほうりゅういん せつな

法龍院刹那、参上…！

何よその間抜け面は。

シヤキツとしなさい従僕。

この世界は、異界より来たれし魔の者達によつて、
侵略されようとしている…

最終戦争…ラグナロクは近い。

奴らに隙を見せたらあつという間にあの世行きよ。

寝首を掻かれないように、常に危機感を持ちなさい。

そんなことよりあなた、ちよつと着いて来て。

これから音楽の授業？ そんなのいいから。

レクイエムが必要な時は私が奏でてあげるわ。

ほらこつち！

んっ…こら、大人しくしなさい従僕…っ！

女子トイレが何だというの？

男子が入ってはいけないなど…

そんなくだらない常識、捨ててしまいなさい…！

ふんっ…ほおらっ！

はあ…はあ…

ふふっ…逃げようなどとは思わないで。

あなたはもう私のもの。

そういう契約なの。

ご主人様の命令には絶対服従。いい？

ん…理解したようね。

今日は私の、神聖なる実験に付き合つて貰うから。

立場はしっかりわきまえて。

そ、れ、で。

先日あなたに生命原液…

通称精液を貰ったあの時、私に起きた現象…
調べてきたわ。封印されし禁書の力をも借りてね。

そう、あれは大変なミッションだった…
だけど危険を冒して、
エイティーンアダルトオンリーの結界を破り手に入れた情報…
実に興味深い内容だったわ…

あかつき
暁が星々を消し去るまで、熱中して読みふけてしまう程に。

おかげで多くの知見を得ることが出来たわ。
ちけん

そして辿り着いた仮説。
たど

それを確かめる為に、次に行うのは検証…というわけ。

服を脱がすから、じっとして…
そう、いい子ね。騒ぐと良くないわ。

今、ここにいることに気づかれて困るのはあなただもの。ふふっ…

ん…しょ…

あはっ…可愛い乳首が出て来た。

ここ、敏感なところなんですってね？

マスターション…オナニー…って言うんだったかしら？

それをする時に、自分で触ったりするの？ ん？

隠さなくてもいいじゃない。

きんぴん
禁忌の書物に書いてあったわ。

人間は年頃になると、

頭の中を性欲に支配され、オナニーばかりするようになるって…

私は今までしたことないんだけど。

あなたはそうなんですよ？

スケベそうな顔してるし。

この、膨らんでいる先っぽ…

つつんしてあげると気持ちいいのよね？

ほら。こうやって人差し指で、ふたつの乳首を…つつん♪

突起の頂点を…優しく、つつん♪ つんつん♪

んー、くすぐったい？

止めて欲しいの？

知ってるわ。

初めはそうでも、段々と気持ち良くなっちゃうのよね。

ほおら、つんつん♪ つんつん♪

目覚めよ…今こそ真の姿を現わせ…

つんつん♪ つんつん♪

見なさい。乳首がぷっくりと固くなってきた。

いくら口では拒否しようが、体は正直というわけね。くくくっ…

身心一如…つまり、肉体と精神は分けることができない一体のもの。
しんしんごちによ

体が堕ちれば、心も自おのずと…ふふっ…

さあ、素直になりなさい…

本当は触って欲しいんでしょ？

指の腹で、コリッコリの乳首を優しく…

すりすり…すりすり…すりすり…すりすり…

鼻息が荒いわよ。ふっ、ふっ、って。

感じやすいのね。軽く撫でてるだけなのに、そんなに悶えちゃうんだ…

すりすり…すりすり…すりすり…すりすり…

我慢、しなくていいのよ？

皆は授業中だから、少しくらい声を出しても誰にも聞こえないわ。

ねえ、ほら…私に、あなたのいやらしい声を聞かせなさい。

繰り返しけど、命令には絶対服従…だからね。ふふっ…

乳首の周りを、くるくる…くるくる…

乳輪をなぞるように、くるくる…くるくる…

はあ…はあ…

焦らすように、そーっと…ゆーっくり…

くるくる…くるくる…

指先で、くすぐるように、さわさわ…さわさわ…

ん…はあ…はあ…

ジワジワと…快感が全身に広がっていく…

神経が昂たかぶって…どんどん敏感に…気持ち良くなっていくの…

くるくる…くるくる…さわさわ…さわさわ…

気持ちいい…気持ちいい…って…

甘い快感で…脳みそが支配されていく…

くるくる…くるくる…さわさわ…さわさわ…
もっと…もっと…触って欲しいでしょ？

ピンと勃起したこの乳首、強く…刺激して欲しいって。

焦らされるのはつらい？ つらいわよね。

ご主人様の手で、解放されたくない？

激しく弄いじくられて、上り詰めたいでしょう。

きちんとおねだり出来たら…考えてあげてもいいわよ。
どうなの、従僕…？

はあ…はあ…

ふ…ふふ…ふふふつ…

ゾクゾク、しちゃうわ。

そんな反応されたら…ね。

これがサデイスティックな快感、というものなのかしら。

獲物を追い詰めて、あと一歩というところで舌舐めずりをするハンターは…
きつとこんな気持ちなのでしょうね。

ほら…負けを認めるのよ…白旗をあげ、命乞いをするかように…

無様に、媚びるように、乳首をいじめてくださいと…

お、ね、だ、り…しなさい。ほおら♡

ん…？

ふふつ…上出来だわ。

あなたは優秀な従僕ね。

お望み通り、

その欲しがりなエロ乳首を摘み上げて、たっぷり可愛がってあげる♡

ん…

さあ…意識を集中、研ぎ澄ませなさい…

はあ…はあ…

焦らされて、敏感になつてこのふたつの突起に…

いい？ ご主人様からのご褒美…謹つつしんで受け取るのよ…

ふふつ、ほおら…えいつ。

くりくりくりくりい♡

もっと、感じるのよ♡

くり、くり、くり♡

くりくりくりい♡

あなたの乳首…私の指先でつねられて、とっても喜んでる♡
ほら。もっと、もっと♡

乳首こねくり回されて、歓喜の声を上げろ♡

理性を捨て去った、みっともない喘ぎ声を聞かせろ♡

くりくり、くりくりくりい♡

あははっ♡ いいわよ、その反応♡

くりくり♡ くり、くり、くり♡

こういうのも好みかしら？

カリカリカリ、カリカリカリ♡

爪の先で引つ掻くように。

カリカリ、カリカリカリ♡

ふふっ。弾力のある乳頭が、

弾かれる度にぷりぷりと跳ね回っているわ♡

カリ、カリ、カリ♡

ほおら♡ 気持ちいいでしょ？ 気持ちいいわよね♡

カリカリカリ、カリカリカリ♡

ねちっこく、押し潰すように…

くにくに、くにくに♡

もっと強く…激しく♡

くにくにくに、くにくにくに♡

あなたの乳首。抵抗して、指を跳ね返そうとしてくるわ。

くくくっ…反乱分子は徹底的に押し潰す♡
はんらんぶんし

くにくにくに、くにくにくに♡

生意気に勃起したエロ乳首は鎮圧すべし♡
ちんあつ

くに、くに、くに♡ くにくに、くにくに♡

くくっ…背中、海老反りにしちゃって…

快樂の電流で脳みそを焼かれているのかしら。

可哀想に…♡

でも、容赦などしないわ。

まだまだ、攻撃を止めはしない。

くにくにくに、くにくにくに♡

ピクピク震えて、苦悶に悶えていようとも♡

くにくに、くにくに♡ くにくに、くにくに♡

はあ…はあ…んふう♡

盾突いた者はどこまでも追い詰めて、絞め上げる♡

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ♡ むぎゅう♡

何度も何度も♡ 抵抗の意志をなくすまで♡

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅむっ♡ らぎゅぎゅう♡

ほらもっとう、もっとう♡

はあ…はあ…ん…

そうよ…もっとう、もーっとう…気持ち良くなれるでしょ？

ふふふっ♡

さあ。その口から喜悦の声を聞かせるの。

女の子に乳首をいじめられて出す、情けないよがり声を。

あなたの恥態^{ちたい}で、私を心行くまで楽しませなさい♡

カリカリカリ♡ カリカリカリ♡

乳首カリカリ♡ カリカリ♡

はあ…はあ…はあ♡

指で摘まんで、くりくり、くりくり♡

優しくねじるような動きで、くりくり、くりくり♡

ゆっくり、繊細に…

くりくりくり、くりくりくり♡

高速で弾くように…指で乳首を、ピンピン♡ って…連続で…

ピンピン、ピンピンピン♡

はあ…ん♡

これ、好きなの？ ふふっ、ほら、ほら♡

ピンピンピン、ピンピンピン♡

はあ…はあ…ん…ふう♡

とても素敵だわ…あなた、いい声で鳴くじゃない♡
んー？

腰、ヘコヘコ前後に動いてるわよ。

一体どうしたのかしら？

血液が滾^{たぎ}り、気分が高揚^{こうよう}し…

興奮して湧き出した淫^{みだ}らな欲望が、

これ以上我慢できないと…そう訴えているのね？

ふふふふふ♡♡ん♡♡ふふふふふ♡♡

はあ…はあ…んはあ♡

体の奥から、ジワジワと湧き出るユーフォリア…あの時と同じ、胸の高鳴り。
この揺さ振られるような幸福感♡

はあ…んはあ…♡

素晴らしい。そう、これだわ。

これこそ、私が求めていた生の充足…！

レゾンデートル…存在理由。本当の自分。

仮説は間違っていなかった。

その証拠に、今…内に秘められし魔族の本能が躍動し、

真の力が目覚めようとしている…！

はあ…ふう…ふう♡

ふふふふっ♪

実証は完了したけど、本番はこれからよ。

では、従僕…私の覚醒を促す為、次のステージへと移行するわ。

この、さつきから落ち着きなく腰をへこらせてアピールしてる、下半身の肉杭…♡

さあ、出なさい…

ん…しょ…ん…はあ…♡

んあっ、パンツを下ろした瞬間バネ仕掛けの装置のように飛び出して来たわ。

ビンビンと力強く反り返って…

すっごくイレクションしてる♡

垂れ下がった陰囊いんのうの中ではあの、濃厚な子種汁がぐっぐつと活力をみなぎらせているのね…

今でも鮮明に蘇る…あの匂い…味…喉越し。

あれはまさに、脳髓を焼く至高の美酒。

ああ…たまらないわ♡

ん…はあ…はあ…

すん…すんっ…

んあ…ムワアって…広がる、この匂い…はあっ…きつつ…

んっ…はあ…

蒸れたペニスの…とてつもなく濃い性臭せいしゅう♡

すん…すんっ…ん…はあ…すんっ…ふはあ♡

強烈…だわ。鼻が曲ってしまいそう。

でも、これ…好き。癖になる…んっ…

こんなに臭いの…いつまでも、嗅いでいたくなるの…

すんっ…すんっ…すーっ…んはあ♡

屈強なオスの象徴…獲物を貫く肉の槍。

灼熱の、熱き血潮を滾らせてそそり立つ…ケルトハルのルーン…

こんな遅たぐましくて勇ましい、誉ほまれれ高き名槍めいそうを見せられては…

尊敬の念を込めて…キス、したくなっちゃう。

ん…ちゅ…くちゅ…ちゅ…ちゅぶ…はあ…

ふふっ…私の柔らかい唇を使って、肉棒の先っぽから根本まで。
丹念に磨き上げるように…

ちゅ…ちゅぶ…くちゅ…ちゅ…んちゅ…はあ…ちゅ…ちゅる…
ん…ふう…ちゅく…ちゅるる…ちゅぶ…んちゅ…ふは…

裏側も余すことなく…

ちゅ…んちゅ…んちゅ…くちゅ…ちゅる…ちゅるるう…
くちゅ…んあ…あむ…ちゅぶ…ちゅ…んちゅ…ふはあ…

綺麗に…なったかしら？

んあ…先っぽからトロっとした汁が出てきたわ…

これは我慢汁ね。ちゃんと覚えてるわよ。

あっ、垂れちゃう…

あむ…ちゅ…ちゅるる…ちゅ…れろお…んあ…

苦くて、ちよっと舌が痺れるわ。

でも、嫌いじゃない。

むしろ…食欲を唆^{そそ}る味。

唾液が溢れてきて、体がこれを求めている…ん…もつと…

ん…ちゅ…じゅる…ちゅ…んむ…ちゅ…ちゅるる…ちゅぷ…

ちゅ…んちゅ…くぼつ…ちゅう…ちゅぱ…ん…ちゅ…んは…ちゅるる…

くちゅ…気持ちいい？ ん…ちゅぷ…

こんなこと、初めてなんだから…多少下手なのは…ちゅ…
見逃しなさい…

ちゅ…ちゅるる…んは…くちゅ…じゅるる…ちゅぷ…ちゅ…

んん…くちゅ…ちゅる…ちゅぷ…んちゅ…ちゅ…ちゅるる…じゅぷ…

ん…我慢汁…舐め取つても、次から次へと、どんどん溢^{あふ}れてくる…じゅる…

感じて、くれてるのね…ちゅ…ん…

この、くびれてるところ？

ここが気持ちいいの？

んちゅ…ちゅ…じゅる…くちゅ…くちゅ…ちゅるる…ちゅぷ…

ふ…ん…唇すぼめて、締付けながら…擦^{こす}り上げると…いいのね…じゅるっ…

ん…ほっぺもへこませて…内側を肉棒に、ぴっちりくっつけたら…

吸い付くように…んちゅうう…はあ…

舌も…動かして…しっかり唾液を絡ませながら、竿を…じゅる…ぐぼつ…じゅるるう…

こんな…感じ？

じゅるる…ぐぼつ…ぐぼつ…んちゅ…れろれろお…ん…じゅぽ…じゅぽ…

ちゅるる…にゅぷ…ちゅ…ぬぷ…

はむ…ん…じゅぷ…くちゅ…むちゅう…じゅぽ…はあ♡

なあに、そのとろけ顔は♡

ふふっ、最高に気持ちがいい…そう言いたそうね。

大分コツが掴めてきたわ。

我慢しなくていいのよ？

好きな時に、口の中に精液を出しなさい。

たっぷり、びゅーびゅーって。

欲望を解き放つの。ほら♡

ん…ちゅ…んちゅ…じゅるる…じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ…んふう♡
ちゅ…じゅるっ…んあ…ちゅ…れろお…んちゅ…じゅるる…
じゅぶ…じゅぶ…じゅる…んは…くちゅ…ちゅるる…んあ♡

おちんちん気持ち…いい？

ちゅぽ…くちゅ…従僕…ちゅ…ねえ…

おちんちん…とろけそうなくらい、気持ちいいんでしょう？

ちゅぶぶ…んちゅ…はあ…

出せ…出せ…んちゅ…白くて…濃くて…雄臭い…精液…

喉に絡みつく、ドロドロ…ザーメン…じゅぶ…美味しい、特濃…おちんぽミルク♡

…ん…ちゅぶ…

ちゅ…じゅるる…にゅぽっ…にゅぽっ…ちゅるる♡

んもっ…んっ…じゅぞぞ…んちゅ…じゅぽ…じゅぽ…じゅるる…んはっ♡

はあ…はあ…♡

早く…出さない…

もう、我慢できないわ…

欲しいの…精液…早く…

この体の疼きを、渴きを、癒せるのはあなただけなの。

はあ…んはあ♡

私を酔わせ、狂わし、覚醒へと導く魔性の媚薬…

出せ…出せ♡

はむ…ちゅるる…にゅぽっ…にゅぽっ…じゅるる…ちゅぽ…

んちゅ…じゅるっ…じゅる…じゅぽぽお♡

早く…んちゅ…早…く…にゅぽっ…ちゅるる…ちゅぽっ…

イッて…おちんちん…ちゅ…じゅぽっ…

射精…しなさい♡

んむっ…ちゅっ…むぐっ…んんっ…じゅぶぶ…じゅるる…

れろれろろお…ちゅ…じゅるる…じゅぽっ…じゅぽっ…じゅぽっ♡

んあ…出そう？

出して♡

ちゅっ…じゅぽぽ…出せ…出せ出せ出せ♡

むちゅ…じゅるる…くっさい精液、出せ出せ♡

口の中に、いっぱい吐き出せ♡

ちゅ…じゅぽっ…じゅぽっ…

イケ…イケ…イケ♡

ちゅ…じゅる…んっ…むぐっ…じゅぽぽっ…むちゅう…ちゅぽっ…
じゅるっ…じゅぽっ…じゅぽっ…じゅぽっ…
んっ…んっ…んっ…んっ♡ んぐう♡ んんんんっ♡
じゅるるるるう♡ じゅぞぞっ…んはあ♡

はっ…はっ…はっ♡

で…出た♡ すごっ…あっあっザーメン、大量…♡

んっ…んっ…んくっ…喉に、絡みつく…

んっ…んくっ…んんっく…んはあ♡

げええっぶ♡

くはあ♡ はあ…はあっ…くっさあ♡ はあ…はあ…ふはあー♡

濃厚なこってり精液、とっても美味しい♡

胃の中で、魔力が吸収されている…

それが血管を駆け巡って、全身隅々^{すみずみ}にまで行き渡るの…

乾いた大地に水が染み込むみたいに、干からびていたものが蘇るような感覚…

ふーっ♡ ふーっ♡

あっ…くうっ♡

心臓がドクドク…大きく脈打って…く、苦しい…

ううっ！

来た、来たわ…

くうう…うっ…ふう…ふう♡

凄い…感じる…はつきりと、私の中で力がみなぎっているのが…♡

はあ…はあ…んはあ♡

くくくっ…

今、私は覚醒した。これこそ本当の私。

魔族として、新しい一步を踏み出したの。

そして理解したわ。私の正体は…

ありがとう従僕。協力してくれたあなたにも感謝しないと。

んー？ ふふっ。何がなんだか分からないって、そう思ってるわね。

大丈夫よ、後でちゃんと教えてあげる♪

今はただ、主の目覚めを祝福していればいい。^{あるじ}

それじゃあ、私は行くわ。

こんな素敵な日に、退屈な授業など受けていられないもの。
また会いましょう。星の綺麗な夜に…ね♡

トラック3

[Episode 3 従属と愛欲の淫夢]

はあ…はあ…ん…はあ♡

んー？ ふふっ…気がついたかしら？

覚醒せし、我が力にてサンクチュアリを切り開き、夢境^{むきょう}の地に降り立つ。
ルナティックナイト…狂気の夜に

^{ほうりゆういんせつな}
法龍院刹那…ここに推参…！

…ほら、ご主人様がはるばる足を運んで来たのよ。

何か^{なに}劳いの言葉はないわけ？

まあいいわ。私、今とても機嫌がいいから。

従僕の無礼も許してあげる♪
ん、ここ？

ここは、あなたの夢の中よ。

従僕の部屋に侵入したら丁度ベッドですやすや眠ってたから、
手に入れたこの力を試してみたくなってね。

くくくっ…改めて昼間の件。本当に感謝するわ。

あなたのおかげで私は真の力を覚醒させ、自分の正体を知ることができた。
私はハーフサキュバス…人間と、淫魔の間に生まれた子。

見なさい。背中から生える漆黒の羽…！

お尻から伸びる細長い尻尾…！

それらは人間ではなく、魔族であることの何よりの証。
そして…

ふう…ふうう♡

この燃え上がるような淫欲♡
分かる？

ここ、私の第二の捕食器官…ヴァギナが、トロトロに濡れているでしょ？
生まれて初めてありつけるご馳走に、

飢えた子宮が涎を垂らして待ち焦がれてるの。

ご馳走とは勿論、あなた…人間の精液♡

あはっ、寝ぼけた頭でようやく理解したようね。
これから自分が、何をされるのか…♡

大丈夫。怖がることはないし、難しいこともないわ。
あなたは寝転がったまま。

皿の上の料理のように、ただ美味しく食べて貰えるのを期待していればいいの。

分かったなら早く、あなたの肉棒…おちんちん。
勃起させなさい。

疼いて止まない私の、発情淫乱おまんこ。

搾精に特化した、人間のメスなんかよりも遥かに気持ちいいスケベ穴さくせい♡

ここに、ズプウ♡って突っ込むの。

あなたを神々の楽園、エリシオンへとご招待するわ♡

一度この快感を味わったら二度と、

普通の女の子との交尾では満足できなくなっちゃうけど…♡

いいわよね。

ご主人様として、ちゃんと責任は取ってあげるから…

心置きなく墮落への道を進みなさい♡

さあほら…勃起して、私と合体しましょう？

体同士をピタッとくっつけて。

肌と肌がドロドロと、溶け合っちゃうくらい汗だくになって。

ひとつになるの。私達は…

ふふふっ…まずは唇から。連結♡

んちゅ♡ちゅ…ちゅるるう…んちゅ…んれろお…くちゅ…じゅるるう♡

ちゅぶっ…ちゅぶっ…じゅぶぶう♡れろ、れろ、れろれろお♡んはっ♡

はぁ…はぁ♡

キス、上手くなったでしょ？

サキュバスの血が覚醒した今、本能で分かるの。

この前はあるな拙いつたなキスしか出来なくて、悪い事をしたわ。

あれが実力と勘違いされては、サキュバスの名折れよ。

今この場で、名誉挽回させて貰うわ…♡

んむっ…じゅぽぽっ…ちゅるるう…ちゅぽっ…んちゅ…むちゅう♡

じゅりゅ…ちゅ…にゅるる…んれろれろ…れろれろお♡

ちゅぷ…こうやって、舌同士を絡ませて、貪^{むさび}りつくように…

じゅるるう…れろれろお…くちゅ…ちゅるる…んちゅ…

柔らかくて…温かくて、気持ち…ん…いいでしょ？

お互いの唾液を…混ぜ混ぜ♡

じゅるるう…くちゅくちゅ…ちゅるっ…

くちゅ…んちゅ…ちゅぷ…んれろお…くちゅくちゅ…じゅるるう♡

ん…唇を、キュツと窄^{すぼ}めて舌フエラ♡

はむっ…ちゅ…じゅぽっ…じゅぽっ…じゅぽっ…じゅるるう♡

ちゅ…くちゅ…じゅぷ…れろれろお…んじゅるるう♡

ちゅ…んちゅ…ちゅるる…んっ…じゅるっ…じゅるっ…じゅぷう♡

んはぁ♡

どう、私の本気のキスは。

下品でいやらしいドスケベなベロチュー、気に入ってくれたかしら？

ふふっ、そのとろけ顔を見れば言わずもがな…ね♡

そうそう、サキュバスの唾液には催淫^{さいいんこう}効果があるのよ。

獲物を強制発情させることで勃起^{うなが}を促し、

効率良く捕食する為に進化した特質なの。

ハーフだから純血のものより、効果は弱いけど…

でもちゃんと、欲情してるみたいで嬉しいわ♡

もつと唾液を追加して、媚薬漬けにしてあげる。

交尾のことしか考えられないエロ猿みたいに、理性を無くすまで。

徹底的に…♡

ちゅ…んちゅ…はぁむ…ん…ちゅ…じゅるる…ちゅぷ…

んーちゅ…れろれろ…んちゅ…ちゅ…

じゅるる…ふはっ…ん…じゅるっ…

れえろ…れろれろ…ちゅ…ちゅぱ…じゅぷ…ちゅるる…

もつと…くちゅ…もつと舌を突き出しなさい…従僕…ちゅぷ…ちゅるる…

甘くて痺れる性フェロモン…たっぷり吸い込むの…

んちゅ…じゅるるう…ちゅぷ…ん…

美味しいでしょう…ちゅる…くちゅ…
自分からも、舌…動かして…

私の舌に、絡みつけてきなさい…

ちゅ…じゅる…くちゅ…じゅぷぷ…

れろれろお…んちゅ…ちゅ…

じゅる…んちゅ…ちゅる…くちゅ…

れろ…ちゅ…れろ…れろれろお…ちゅ…

もっと、擦^{こす}り付けるように…じゅるるう…ぴったりくっつけて…

ちゅ…んれろれろ…ちゅぷ…ちゅるっ…

涎、泡立つくらい激しく…じゅぷぷ…じゅるるう…

ちゅ…れろれろお…んちゅ…じゅるるう…

そう…ベロチュー、上手よ…そのまま…んちゅ…

私を求めて…愛欲に溺れるといい♡

れろお…じゅぽ…ちゅるる…ちゅぷ…じゅるる…れろれろお…

じゅる…ちゅ…んれろお…ちゅ…じゅるる…ちゅぽ…んれろれろお…

じゅる…んちゅ…れろれろれろお…

ちゅぷ…ぬちゅ…じゅるる…ちゅ…れろお…

んはあ…はあ…ふはあ♡

おちんちんはどう？

ちゃんとフル勃起できたかな？

スリスリ…うん、十分だわ♡

よい…しょ…ふう…ふう♡

ふふっ、いいわね。

とても元気な上^{うわぞ}反りペニス♡

ああ…血管浮き出てピクピクしてるう…

んんっ♡

美味しそう…ああ、食べたい…これ、早く食べたいの♡

もうずっと、お腹の奥がズキズキ疼きっぱなし♡

ムラムラ限界なの♡

覚醒したてで我慢知らずの腹ペコサキュバスおまんこ、

パクパクってご馳走求めてヒクついてる♡

まん汁バカみたいにあふれ出して、太ももの下までもうビチヨビチヨ♡

はあ…はあっ…ふはあ♡

いいでしょ、従僕？

おちんちん…ハメるわよ♡

もつとも、あなたに拒否権はないのだけれど。

あ、それと。^{あらかじめ}予め断っておくけど。

加減が出来なくて、うっかり搾り尽しちゃったらごめんなさい…♡

ふう…ふう…んっ…

おちんちんの先っぽ…んあ…入って…来る♡

おっ…おおっ…ほおっ…

ミチミチ…かき分けて…これ…ふとお♡

んっ…くふっ…内臓、えぐられてるみたい…

凄い、圧迫感…ふーっ、ふーっ♡

^{はっもの}初物おまんこ、張り切り過ぎてギチギチに締め付けちゃってるの…

だけど、滑りがいいから簡単に…

んっ…んおっ…くっ…来る…来ちゃう…奥まで…

ふおおおっ♡ おっ♡ おおおおっ♡

ふっ…ふはっ…ふっ…ふーっ…♡

ぶっといおちんちんで子宮小突かれただけで、イッて…しまったわ♡

はあ…あ…はあ…ふう…ふう♡

全部…入っちゃったわね♡

^{ちっにく}膣肉全体がぴっちり吸い付いて、

おちんちんのゴツゴツした形がはつきり分かる♡

凄く固くて、しっかりとした齒ごたえ…

いい…とつても。

んああ♡これが…欲しかったの…♡

ふう…ふう…ん…はあ…♡

従僕も、気持ちいい？

射精、我慢できる？

ふふっ、優秀じゃない♡

ふっ…ふう…ん…はあ…はあ…んはあ…♡

じゃあ、動くから…ね。

最初は前後にゆっくり、ぐりぐり擦り付けるように…んほおっ！？

おっ♡ おおおっ♡

待って…これ…ヤバっ…危険…だわ…

くっ…くひっ…ふ…ふーっ♡

私の弱点…クリトリス…ガチ勃起して、プリツと露出…してしまっているせいで…

動く…あなたの陰毛と擦れて…電流が走ったみたい…んひい♡

ダメっ…感度良過ぎて、耐えられない…

くっ…ふう…ふう♡

脳みそがショートする…シナプスが、焼き切れる♡

足ガクガクして制御不能。腰…抜けちゃう…んあっ。

私のクリトリス…勃起すると、小指の先くらいあるから…

ふっ…ふっ♡

ちよつと動くだけですぐ、クリクリって擦れて、快感…凄いのお…んおっ♡

くっ…何てこと…この私が、

捕食者でありながらこんな弱点丸出しの敏感ボディだなんて。

だけど負けないわ。この程度の試練、容易く乗り越えて…

んっ…んおっ♡ おっ…ふ…ふほおっ♡

痺れりゅ…んほっ♡ おっ…おおっ♡

気持ちいい…んひっ♡ クリ、凄お♡ 目の前、バチバチスパークしてりゅ♡

気持ち、いいのお♡

ふおっ♡ おっ…おおっ…ほおっ…んっ…んっ…んおっ…

おっ…おっ…おおん♡ くはっ…はあ…はひ♡

奥…子宮…ぐりぐり…んひっ♡ 気持ち…い…ふはっ♡

そこっ…そこっ…ポルチオも…弱い…弱点なの♡

あっ…あああっ♡ そこっ…奥ダメ♡

亀頭ぐりぐりいつて♡

気持ち良過ぎる♡

中も外も弱点♡ 弱点だらけ♡

弱過ぎ…ふほおっ♡

もうイク♡ またイク♡ イクイクイク♡

おっ…んおっ…ほおお♡

負けちゃう…ちよっとおまんこされただけでクソ雑魚サキュバス、イカされちゃう♡
アクメ…ぐる♡

おっ…ほおおおおっ♡ イッ…グううう♡

ふおっ…おっ…んおーおお…♡

潮、吹いちゃってる…おしっこみたいにビュって勢い良く…

はぁ…はぁっ…ふひ…ふひい…

くっ…従僕の癖に、よくもやってくれたわね…

この私を軽々と、二度も絶頂せるなんて…生意気だわ！
勝手にイっただけ…ですって？

ええい、問答無用…！

その猪口才な肉棒は、搾精ピストンでお仕置きよ！

私を怒らせた罪は重いわ。

次は絶対に、私より先にイかせてやるんだから。覚悟しなさい…！

集中…集中…

はぁ…はぁ…

行くわよ…！

ふんっ！ ふっ、ふっ、ふっ！

おちんちん…んおっ♡ くっ…んんっ♡

根本から先っぽまで、余すことなく徹底的に…くひっ♡

お、おまんこで扱き…倒して…やるんだから…！

はっ…はっ…

種搾りプレス…ふほおっ♡

おっ…んおおっ…ほおっ♡ おっ…おおおっ♡

ズボズボ、ズボズボって…愛液泡立つくらいに激しい腰使い…

んっ…んおっ…耐えられない…でしょ？

トロトロきつきつ絶品おまんこの気持ち良さに負けて…くっ…ふはっ♡

とつとと情けなく、敗北射精…しなさい…

んほおっ♡ おっ…ほお…んくっ…ふっ…ふうっ…♡

おおっ…おっ…ふはぁっ…くっ…くふっ…んおおっ…ふうっ♡

くっ…はっ…はっ…

おちんちん、ズプズプ♡

ズプズプ、出たり…入ったり…

はあ…はあ…

一突きごとに肉棒に絡みつく、まん肉の…超密着感♡

中のヒダが、ギュウギュウ…ウネウネ、やらしく動いて…んはあっ♡

絞り上げるように、射精を…うなが促してるの…

はあ…はあ…んっ…くおっ♡

はっ…はあっ…

遠慮なく…頭空っぽにして、無様にイッてしまっているのよ…♡

ほら、あなたの可愛い鳴き声とアクメ顔…早く見せて♡

さあ早く、早く、んんっ♡

おっ…んおおっ…ほおっ…ん…

くうっ…くおっ…くっ…んおおっ♡

ふっ…ふっ…おっ…おっ…ほおっ…おおっ…んおおっ♡

はっ…くう…んっ…おっ…おっ…おおっ…ふっ…くう♡

さ…さすが、頑張るじゃない従僕…

でも、そろそろキツインじゃない？

ふふっ…これで…どう！？

んっ…ほおっ…おっ…

更に、ギアを上げて…

もっとな強く…スピードアップ…んああん♡

あっ…んあっ…激しっ…おっ…ぐうっ♡

子宮…キク…ふほおっ…ガツンガツン響いてる…

おっ…んおっ…ほっ…んおおっ♡

長あいストロークで、思いつ切りバコバコ♡バコバコ♡

愛液飛び散るくらい熱烈に、腰を叩きつける♡

名付けて必殺、ライデンシャフト・ピストン…！

食らいなさい…んはっ…♡

おっ…おっ…ふおっ…おっ…んおおっ♡

おっ…ほおっ…くっ…おっ…おっ…ほおっ♡

ん…おっ…ほおっ…くっ…ふはっ♡

はっ…くっ…はっ…はっ…はっ…
んおっ…おおっ…ふほおっ♡おっ…おっ…くっ♡

精液…出せ…出せ…出せ…出せ♡

おちんちんイケ…イケ…

さっさとイッちゃえ♡

んっ…くっ…はぁ…

負けろ…降参しろ…

気持ちのいい敗北アクメ決めちゃえ♡

ほら、ほら、ほら…

出せ…出せ…出せ出せ出せ♡

はっ…くっ…んあっ…あっ…んっ…くっ…ほっ…んおおっ♡

はっ…はっ…はっ…はっ…♡

ふっ…ふふっ…辛そうじゃないの。

おちんちん、もう限界？

なら出せ♡私の子宮にぶっかけるの♡

絶品濃厚ザーメン、お腹いっぱい食べさせなさい♡

早く…早く…私も…ほおっ…も…もう、限界なんだから…♡

おっ…おっ…くっ…ふう…んいっ…ふおおっ…おっ…おっ…♡

あ…ダメ…イク♡大っきいの…すっごいの来てる…んあっ♡

早く…早く早く…イケ、射精しろ、中出し、ビュルルって…！

あっ…もう…私、イク…イクイクイク♡

飛ぶ…飛んじゃうのお♡

あっ…！！ イッ…イッ…グううう♡

うっ…ううう♡ほおおおおおっ♡おっ…おおっ♡

おっ…おっ…ふひっ…ふひーっ…

出てる…精液…子宮にたっぷり注ぎ込まれてる♡

ほおっ…ふひっ…んん…♡

すごお♡これ美味ひ♡美味ひ♡

とろけちゃう♡これ好き♡大好き♡従僕う♡

ふーっ♡ふーっ♡

はあむ♡んちゅ…ちゅ…んんっ…

体、密着させて…上も下も…繋がって…ちゅっ…お腹満たされて…
くちゅ…ん…すっごく、幸せ…

じゅる…ちゅ…じゅぷ…

れろれろお…んちゅ…ちゅ…じゅる…

んちゅ…ちゅぱ…れろれろ…はあむ…ちゅる…くちゅ…
んれろお…ちゅ…れろれろ…

じゅる…ちゅ…じゅぷ…れろ…れろれろお…

ちゅ…ちゅる…くちゅ…ちゅぷ…んはあ…はあ♡

同時にイツちやったから、勝負は引き分けね。

残念。後もう少しだったのに…

けれど…ふふっ♡

媚薬唾液の効果で、再勃起したわね♡

うん、硬さも大きさも衰えてない…まだまだ余裕そう。
わんこ

気に食わないわね…絶対に次は負かしてやるんだから♡

では早速、2回戦を始めるわ！

なに？ 何度だってやるわよ？

私が勝つまで…いいえ、私が満足するまで♡

世界を照らす太陽と再び相まみえることになるうとも。

溜めに溜め込んだ性欲が、私の中でドス黒く渦巻いているの。

サキュバスの本能が激しく騒ぎ…

もう、自分の意志では止められない…

さあ…従僕♡

ふっ…ふっ…んっ…んおっ♡

おちんちん…もつと…くっ…ほおおっ♡

おっ…おっ…パコパコ…突いて…んっ…ほおっ…おっ♡

もつと…気持ち良く…んんっ…はあん♡

おまんこと、おちんちん…一緒に…んっ…気持ち良く、なりましよう♡

おっ…おっ…んおっ…おっ…おほおっ♡

子宮ズンズン、キクう♡

んおっ…くっ…ほっ…ふほおっ…おっ…もっ…もっ…もっ…
奥、ゴリゴリ引っ掻いて♡

んっ…おっ♡ほおっ…おっ…おっ…おっ…おっ…おっ…

ザーメン♡精液♡おかわり頂戴♡

沢山…はっ…はひっ…沢山、出して♡

おまんこに注ぎ込んで♡

出して、出して、出して♡

おほおっ…おっ…んおっ…おっ…ほおっ…んおっ…おっ…

おっ…ふっ…ふひっ…くっ…んおおっ♡

おっ…んおおおおおおっ♡

止まりなさい。そう、そのあなた。

何故私を尾行しているのかしら？

…って、なんだ。従僕じゃない。

また遅刻？ 本当にだらしないのね。

私は朝日に弱いから仕方ないのだけれど、
あなたはもっとしっかり…

ん？ どうしたのよ、ジロジロ見て来て。

私の背中に何か付いてる？

んっ…んん？

何もないじゃない。まだ寝ぼけているの？

さては、変な夢でも見たのかしら？

ほら。もたもたしてないで、
我らの学舎へと向かうわよ。
まなびや

気を引き締めなさい。

今日も1日、まだ見ぬ世界が待ち構えているのだから…！

あ、そうそう。

精液…まだ足りないから、今宵もよろしく…ね♡

トラック 4

[Episode EX 慢心と追悔の配信]

あー、あー、音大丈夫？

私の声、聞こえてる？

んー…ふふっ…

さて、集まってるわね。そろそろ始めようかしら。

欠けた月が満ちる時、闇の世界はざわめき立つ。

満月の夜の宴。煩惱を抱え、愚者達ぐしゃは集う。

混沌渦巻く淫魔の配信…

次元の向こうの下僕達よ。我の名を唱和せよ。

偉大なる主あるじの名を…そう。

我こそは、法龍院刹那ほうりゅういんせつなっ…！

ありがとう。

みんな元気にしてた？

この配信に合わせて、ちゃんと禁欲の掟は守っていたかしら？

ふふっ、いい子達ね。

ハーフサキュバスがお送りする。

月に一度のオナニー配信。

今日も私の淫靡いんぴな姿をオカズに、自身の肉棒をシコシコ慰めて…なぐさ

情けなくピュッピュッと無駄撃ちするがいいわ…！

今日何するの？

ええつと、そう。

今回の配信の為に用意したのは…くくくっ…これよ！

じゃん！ 超極太バイブ…！

凄いでしょ？

おちんちんの形状を模したストレートタイプ。やっぱり形はこれでしょ。

んー…改めて見ると存在感凄いわね…

でも表面は…結構柔らかくてしなやかだから入れやすそう。

振動パターン9種類。

他にも回転したりピストンしたり、色々あるみたいだわ。

でかつ。

大きさどのくらい？

えっと…あ、挿入長^{そうにゅうちやう}17センチ。

最大直径7.5センチって書いてある。

黒人超えじゃん。

ヤバっ。本当に入るの？

くくくっ…この法龍院刹那^{ほうりゅういんせつな}を舐めないことね。

サキュバスの血を引くこの私に、

ハメられないおちんちんなど存在しないわ！

まあでも…ちよつと様子見で前回使った、

ひと回り小さいヤツで慣らしてからにするわね。

んーしょ…ん…

びびったわけではない…これは戦略的な見合わせ行為。

時には慎重を期^きするものも、この乱世を生き抜くコツよ。

あ、あった。こっちも直径5センチあるからそこそこよ。

カメラ、調整するわ。

んっ…これくらい？ 見える？

ふふっ…挑発的なM字開脚♡

パイパンに…みんな大好き、エッチな形の淫紋がまる見え♡

これだけで、年中発情期の下僕達はフル勃起しちゃうでしょ？

濡れてない？

ふっ、画面越しでも分かってしまうのね？

実はもう、配信始める前からムラムラの抑制が止まらないのよ。

私の体で魅力された、何人もの下僕達がシコシコピュッピュツと。

せっかく頑張って作った精液をみーんなオナニーで無駄にさせてしまうの。

とても贅沢で、湧き上がる優越感。

想像するとサキュバスとしての自尊心が満たされて、

おまんこがとろけてしまうのも仕方ないでしょう♡

こんなに濡れてたら、
ローション付けなくても簡単に、にゅぽんっ♡って入っちゃうかもね。

よいしょ…

まずはそのまま、スイッチは入れずに…んっ…割れ目に押し当てて…
ふう…んっ…ふあっ♡
くちゅくちゅいつてる♡

はぁ…んっ…はぁ…あっ…んっ…

ゆっくり、焦らすように…挿入…ふあっ…んああっ…

ヤバ…私のおまんこ…

バイブの先端少し入れただけで、

ギューって吸い込むみたいに持っていかれる♡

んっ…はぁ…おっ…おっ…ミチミチ…啜え込んで…んっ…はぁ♡

お汁垂れちゃってる♡

はぁ…んっ…奥…届く…んっ…おっ…んおおっ♡

ふーっ、ふーっ、ふーっ♡

全部、入っちゃった♡

ほら、余裕でしょ？

気持ち良さそう。

ぶち犯したい。

ふふっ…もし私を街で見つけたなら、遠慮なく声をかけなさい。
即ハメしてあげるわ。

もっとも犯されるのは私ではなく、あなたの方だけ♡

ふっ…んん…ああー…子宮の入口、ぐりぐりするの…

感じ…ちやう…んはっ…あっ…ああっ♡

凄く締まって…偽物ペニスに膣壁ちつへき、フィットしてる…

ギュッ、ギュッって精液ねだって伸縮しているわ。

ほら、これが自分自身のだと想像しなさい。

吸い付くみたい、ウニユウニユって。

やらしいヒダがまとわりついて、扱しごき上げちゃってる♡

あっ…んんっ…はぁ…んあ…はぁ♡

早漏の者ならこれだけで果てちやうかもしれないわね。

んっ…はあ…そろそろバイブのスイッチ、入れてみようかしら♡
ここを…んっ…んああっ♡

あー…♡ あっ…あっ…あー♡

そこっ…キクう…んっ…んおっ♡

まん汁…また溢れてくる♡

んおっ…おっ…おおっ♡ あっ…くう♡

バイブ…振動、気持ちいい♡

あっ…あっ…んおっ…ふっ…ふっ…

やっぱり…んあっ…

本物のおちんちんが一番だけど、これも…んっ…悪くない♡

あっ…んあっ…くっ…ふう…んんーっ♡

足、勝手にピーンって伸ばしちゃう♡

ふーっ♡ ふーっ♡

全身の筋肉が、快楽を逃がそうとして…んんーっ♡ んっ、んっ♡

おっ…んおおっ…ほおおっ♡

すっごい…これ…んっ…ふほお♡ はっ…はあ…♡

ダメエ…おまんこで、ブルブル震えるの…

この感覚、ハマっちゃってるかも♡

くおっ♡ おっ…おっ…♡

奥、コツンコツンするとお尻跳ねて…恥ずかしく空腰振からしってる♡

おちんちんじゃないのに、勘違いしてる愚かなまんこ♡

んおっ…くっ…おっ…おっ♡

ピストン…ほおっ♡

えぐられるみたい…んはっ♡

出し入れしてるとこ、見て♡

はっ…はっ…んほおっ♡ ふ…くうっ…んっ…んっ…おおっ♡

ズコ、ズコって…んっ…くふっ…んっ…はあ…はあ…んおおっ♡

そこっ…そこっ…ポルチオ…ゴリゴリ♡

イイっ♡ ヤバヤバっ♡

我慢…効かなくなる♡

おっ…おおお♡ イク♡ バイブオナニーでアクメっちゃう♡

んっ…んっ…イク♡ おまんこイグう♡

おっ…おっ…おおおおっ♡ んおおお…♡

ふひっ…ひーっ…ひーっ…はひ…はあ…はあ…

んっ…んおっ♡ はぁ…はぁ…あ…あ…はぁ…

バイブ抜いてもぽっかり穴が空いてる…アビスが覗いているわ…
様子見の前戯のつもりだったのに、深イキしちゃった♡

でもこれで、中までしつかり解れたから案外、
例の7センチオーバー超極太バイブもすっぽり入っちゃったりして。

みんなもう射精しちゃった？

まだイケる？

ふん、ふん。

ふふふっ、あなた達、元氣一杯ね。

好きよ、性欲旺盛で絶倫の下僕達は♡

さてと…では本命の…んしょ…超極太バイブ。

最大記録に挑戦するわよ♡

刹那様なら余裕でしょ。

くくっ、当然♡

一気に突っ込め。

ふむ…そうね。

慣らしながら入れたいところだけど、それだと地味で配信映えないし。
時には慎重に、時には大胆に。

ということ、ひと思いにズボツと奥まで挿入そうにゆうしてしまおうかしら。

いいわね、採用よ。

こうして…ほら、かなり太いから自立も安定するのよね。

イスの座席に真っ直ぐ立てて…がに股で跨またがって…と。

どう？ 入るところ見えるでしょ？

体重をかけて、このまま一気に奥までぶち込むわ♡

ふう…んっ…はぁ…

先っぽを、おまんこに当てて…

んっ…あっ♡ はぁ…はぁ…

見てなさい。法ほうりゆういん龍院刹那の超極太バイブ一気飲み♡

この配信は、やがて伝説となる…ふふっ♡

さあて。興奮収まらない内に、行くわ。

新たな境地へと…

せーの…ふんっ♡

んのおおおおおおっ！？ おっ…んおおおおお♡

ひっ…くひっ♡ おっ…おっ…くひーっ…くひーっ♡

ふっ…ふひっ…おっ…ふほお♡ んぎっ…いっ…ひい…

おっ…おっ…おっ…おおおおおっ…おお♡

おま…んこ…おっ…おま…んこ…ふほお♡

ギチギチ…ギチギっ…ほおっ…おっ…おっ…ほおっ♡

イグ…ま…またイグ…無理…無理無理無理♡

んぐううううっ♡

うっ…んうう♡ ふお…ひっ…ひっ…ひーっ♡ ひーっ♡

おっ…おふっ…んおっ…くひっ…くひっ…

あっ…はひっ…これ、ダメなやつ…

子宮と、ポルチオ…ギチギチで…ずっと…んっ…くふう♡

弱いところ、刺激…されてる…おっ…お腹…あちゅい…ふぎっ♡

ヤダ、止まって…おまんこの中、

痙攣して…勝手に弱点攻められりゅ…

スリスリ…スリスリって…気持ちいいのが止まらない…んおっ♡

おっ…おっ…んおおおっ♡ また…また来る♡

ダメダメ止まって♡ イク♡ イク♡

んぎいいいっ♡ イグイグイグ♡

イグううううっ♡ んほおおおっ♡

おっ…おほおおっ♡ おっ…おっ…んお♡

ひい…ひい…ふひい…くひーっ…くひーっ♡

ぬ…抜かにやいと…これ、マジでヤバ…

ガチイキエンドレスモード…入っちゃう…ふひっ…ふひっ♡

んっ…んあっ…体に…力、入んない…バイブ…抜けにや…あっ…ひっ…

お汁でヌルヌルして…滑る…んっ…この…抜け…抜け…ろ…

んひいひいひいひい♡ 違っ♡ スイッチじゃな…ほおおおっ♡
止めて♡ 止めて♡

んおおおおお♡ おっ、おっ、おおっ♡
ブルブル止まって、止まって♡

ぎもちよすぎ♡ いっ…いいいいいっ♡

ああ無理♡ イグ♡ まら…イグ♡

んごおおおっ♡ おっ♡ ふぎいいい♡

くひっ…ふひっ…んにいいい♡ ひい…ひい…んひい♡
たしゆけて…んおっ…誰か…たしゆけて…ふひい♡
おおおっ…おおっ♡

動けにゃい♡ 体、バイブと一緒に痙攣してりゅ♡
おっ…おおおっ♡ おっ、おっ♡ おおおおっ♡

超極太バイブ♡ 負けました♡ 負けました♡
クソ雑魚サキュバス、バイブに降参♡
ゆるひて…ゆるひてえええ♡

ほおおおっ…んおおっ…おっ…おっ…
抜け…て…抜け…て…バイブ…抜けて…
お願いひまひゆ…ふっ…ふっ…ふーっ…うっ…うっ…
抜け…て……ふぎいっ!？

おっ…おっ…んほおおおおおっ♡
違っ…ちがちがちがっ…モードチェンジじゃない♡
バイブ暴れてりゅ♡

お腹、ぐるぐるかき回されてりゅ♡

んおおおっ♡ おっ…おっ♡
イグイグイグ♡ おまんこイグ♡

イグうううう♡ んのおおおおっ♡

うっ…うっ…んうううっ♡
おっ…おっ…んおおおっ♡

また♡ イグ♡ イキながら♡ イグのおおおお♡

ほひいいいいいい♡

おっ…おっ…おっ…ぐりぐり…ぐりぐり…んおおおっ…おっ♡
内臓ヤバっ…死ぬ♡

極太バイブにお腹の中グチャグチャにされて死んじやう♡
ヤダヤダヤダア♡

んおっ…おっ…おほおっ♡ おっ…んおおっ…おっ…おおおっ♡
止めて…ぐりぐり止めて…止めてええ♡
ふおっ…ほおおっ…おっ…んおおっ♡

あっ…イグ♡ イグイグイグ♡

無限ループクソ雑魚敏感まんこ、イグ♡
もうイギっぱなし♡

脳みそ壊れりゅ♡

うっ…ううっ…んいいいつ♡

一番大きいの、来る…頭、破裂しちゃうっ♡

もうらめ、あっ…あっ…パパ…ママ…んあっ…

イツ…イツ…イグう…

イツ…イグ♡ イグイグイグううううう♡

ぬふおおおおおおおっ♡

おっ…おっ…おっ…ぐぎっ……ぐぎぎん♡♡ ゐぎぎんんん♡♡

ひーっ…ひーっ…ひーっ♡

……あっ…

すーっ…すーっ…すーっ…すーっ…すーっ…